

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月9日

【四半期会計期間】 第203期第1四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

【会社名】 スルガ銀行株式会社

【英訳名】 Suruga Bank Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 岡野光喜

【本店の所在の場所】 静岡県沼津市通横町23番地

【電話番号】 (沼津)055-962-0080(大代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営管理部長 秋田達也

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋室町1丁目7番1号
スルガ銀行株式会社 経営管理部

【電話番号】 (東京)03-3279-5527

【事務連絡者氏名】 経営管理部 財務部長 原明弘

【縦覧に供する場所】 スルガ銀行株式会社 東京支店
(東京都中央区日本橋室町1丁目7番1号)

スルガ銀行株式会社 横浜支店
(神奈川県横浜市中区相生町3丁目56番地1)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

		平成24年度第1四半期 連結累計期間	平成25年度第1四半期 連結累計期間	平成24年度
		(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
経常収益	百万円	26,743	28,898	111,241
うち信託報酬	百万円	—	—	0
経常利益	百万円	7,098	10,083	36,247
四半期純利益	百万円	4,230	6,148	—
当期純利益	百万円	—	—	21,241
四半期包括利益	百万円	2,665	6,911	—
包括利益	百万円	—	—	28,349
純資産額	百万円	198,187	228,106	222,450
総資産額	百万円	3,495,484	3,775,336	3,769,657
1株当たり四半期純利益金額	円	17.94	26.03	—
1株当たり当期純利益金額	円	—	—	90.11
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益金額	円	—	25.99	—
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	円	—	—	90.10
自己資本比率	%	5.6	5.9	5.8
信託財産額	百万円	5	5	5

(注) 1 当社および連結子会社の消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2 1株当たり情報の算定上の基礎は、「第4 経理の状況」中、「1 四半期連結財務諸表」の「1株当たり情報」に記載しております。

3 信託財産額は、「金融機関の信託業務の兼営等に関する法律」に基づく信託業務に係るものを記載しております。なお、該当する信託業務を営む会社は提出会社1社であります。

4 平成24年度第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が希薄化効果を有していないため記載しておりません。

5 自己資本比率は、((四半期) 期末純資産の部合計 - (四半期) 期末新株予約権 - (四半期) 期末少数株主持分) を (四半期) 期末資産の部の合計で除して算出しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社および当社の関係会社が営む事業の内容については、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても、異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」の内容について、重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

連結ベースの主要勘定につきまして、貸出金の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ、個人ローン（単体）が318億70百万円増加し、全体では58億93百万円増加の2兆7,607億94百万円となりました。有価証券の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比50億33百万円増加し、2,358億25百万円となりました。預金の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ、個人預金が665億8百万円増加し、全体では33億41百万円増加の3兆5,134億32百万円となりました。

連結ベースの当第1四半期連結累計期間の損益の状況につきまして、経常収益は、貸出金利息の増加による資金運用収益の増加等により、前年同四半期比21億55百万円増加し288億98百万円となりました。経常費用は、与信費用の減少等により、前年同四半期比8億30百万円減少の188億14百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同四半期比29億85百万円増加し100億83百万円となりました。四半期純利益は、前年同四半期比19億18百万円増加し61億48百万円となりました。四半期包括利益は、前年同四半期比42億46百万円増加し69億11百万円となりました。

国内・国際業務部門別収支

当第1四半期連結累計期間の部門別収支は、資金運用収支が国内業務部門で235億18百万円、国際業務部門で1億21百万円、全体で236億39百万円、役員取引等収支が国内業務部門で△58百万円、国際業務部門で5百万円、全体で△52百万円、その他業務収支が国内業務部門で△1億28百万円、国際業務部門で30百万円、全体で△98百万円となりました。

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	相殺消去額(△)	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
資金運用収支	前第1四半期連結累計期間	21,285	284	—	21,569
	当第1四半期連結累計期間	23,518	121	—	23,639
うち資金運用収益	前第1四半期連結累計期間	21,966	354	△10	22,310
	当第1四半期連結累計期間	24,303	177	△31	24,449
うち資金調達費用	前第1四半期連結累計期間	681	70	△10	741
	当第1四半期連結累計期間	785	55	△31	809
信託報酬	前第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
	当第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
役員取引等収支	前第1四半期連結累計期間	△208	6	—	△202
	当第1四半期連結累計期間	△58	5	—	△52
うち役員取引等収益	前第1四半期連結累計期間	2,985	10	—	2,996
	当第1四半期連結累計期間	3,040	10	—	3,050
うち役員取引等費用	前第1四半期連結累計期間	3,194	4	—	3,198
	当第1四半期連結累計期間	3,098	4	—	3,102
その他業務収支	前第1四半期連結累計期間	266	19	—	285
	当第1四半期連結累計期間	△128	30	—	△98
うちその他業務収益	前第1四半期連結累計期間	1,005	19	—	1,024
	当第1四半期連結累計期間	992	30	—	1,022
うちその他業務費用	前第1四半期連結累計期間	739	—	—	739
	当第1四半期連結累計期間	1,120	—	—	1,120

(注) 1 当社および連結子会社は海外拠点を有していないため、国内、海外の区分に代えて国内業務部門、国際業務部門の区分で記載しております。

2 国内業務部門は当社および連結子会社の円建取引、国際業務部門は当社および連結子会社の外貨建取引、円建対非居住者取引および特別国際取引勘定であります。

3 資金調達費用は金銭の信託運用見合費用（前第1四半期連結累計期間0百万円 当第1四半期連結累計期間0百万円）を控除して表示しております。

4 相殺消去額は国内業務部門と国際業務部門間の資金貸借の利息であります。

国内・国際業務部門別役務取引の状況

当第1四半期連結累計期間の役務取引等収益は、国内業務部門で30億40百万円、国際業務部門で10百万円、全体で30億50百万円となりました。一方役務取引等費用は、国内業務部門で30億98百万円、国際業務部門で4百万円、全体で31億2百万円となりました。

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
役務取引等収益	前第1四半期連結累計期間	2,985	10	2,996
	当第1四半期連結累計期間	3,040	10	3,050
うち預金・貸出業務	前第1四半期連結累計期間	1,593	—	1,593
	当第1四半期連結累計期間	1,645	—	1,645
うち為替業務	前第1四半期連結累計期間	710	9	720
	当第1四半期連結累計期間	663	8	671
うち信託報酬	前第1四半期連結累計期間	—	—	—
	当第1四半期連結累計期間	—	—	—
うち証券関連業務	前第1四半期連結累計期間	58	—	58
	当第1四半期連結累計期間	64	—	64
うち代理業務	前第1四半期連結累計期間	396	—	396
	当第1四半期連結累計期間	427	—	427
うち保護預り・貸金庫業務	前第1四半期連結累計期間	81	—	81
	当第1四半期連結累計期間	79	—	79
うち保証業務	前第1四半期連結累計期間	12	1	14
	当第1四半期連結累計期間	3	1	5
うちその他業務	前第1四半期連結累計期間	132	—	132
	当第1四半期連結累計期間	155	—	155
役務取引等費用	前第1四半期連結累計期間	3,194	4	3,198
	当第1四半期連結累計期間	3,098	4	3,102
うち為替業務	前第1四半期連結累計期間	222	4	227
	当第1四半期連結累計期間	217	4	222

(注) 当社および連結子会社は海外拠点を有していないため、国内、海外の区分に代えて国内業務部門、国際業務部門の区分で記載しております。

国内・国際業務部門別預金残高の状況

○ 預金の種類別残高(末残)

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
預金合計	前第1四半期連結会計期間	3,133,286	134,173	3,267,460
	当第1四半期連結会計期間	3,381,697	131,734	3,513,432
うち流動性預金	前第1四半期連結会計期間	1,199,452	—	1,199,452
	当第1四半期連結会計期間	1,249,370	—	1,249,370
うち定期性預金	前第1四半期連結会計期間	1,913,309	—	1,913,309
	当第1四半期連結会計期間	2,092,099	—	2,092,099
うちその他	前第1四半期連結会計期間	20,523	134,173	154,697
	当第1四半期連結会計期間	40,228	131,734	171,963
譲渡性預金	前第1四半期連結会計期間	—	—	—
	当第1四半期連結会計期間	—	—	—
総合計	前第1四半期連結会計期間	3,133,286	134,173	3,267,460
	当第1四半期連結会計期間	3,381,697	131,734	3,513,432

(注) 1 当社および連結子会社は海外拠点を有していないため、国内、海外の区分に代えて国内業務部門、国際業務部門の区分で記載しております。

2 流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金

3 定期性預金＝定期預金＋定期積金

貸出金残高の状況

○ 業種別貸出状況(末残構成比)

業種別	前第1四半期連結会計期間		当第1四半期連結会計期間	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
国内 (除く特別国際金融取引勘定分)	2,628,493	100.00	2,760,794	100.00
製造業	60,615	2.31	57,646	2.09
農業、林業	6,881	0.26	6,384	0.23
漁業	818	0.03	807	0.03
鉱業、採石業、砂利採取業	40	0.00	—	—
建設業	30,659	1.17	27,191	0.99
電気・ガス・熱供給・水道業	9,184	0.35	8,313	0.30
情報通信業	1,243	0.05	1,426	0.05
運輸業、郵便業	14,507	0.55	13,102	0.47
卸売業、小売業	57,342	2.18	49,937	1.81
金融業、保険業	61,342	2.33	58,711	2.13
不動産業、物品賃貸業	96,479	3.67	89,196	3.23
各種サービス業	57,065	2.17	53,045	1.92
国・地方公共団体	23,638	0.90	21,460	0.78
その他	2,208,680	84.03	2,373,576	85.97
特別国際金融取引勘定分	—	—	—	—
政府等	—	—	—	—
金融機関	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合計	2,628,493	—	2,760,794	—

「金融機関の信託業務の兼営等に関する法律」に基づく信託業務の状況

「金融機関の信託業務の兼営等に関する法律」に基づき信託業務を営む会社は提出会社1社です。

○ 信託財産の運用/受入状況（信託財産残高表）

資産				
科目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
現金預け金	5	100.00	5	100.00
合計	5	100.00	5	100.00

負債				
科目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
金銭信託	5	100.00	5	100.00
合計	5	100.00	5	100.00

(注) 1 共同信託他社管理財産 前連結会計年度47百万円 当第1四半期連結会計期間47百万円

2 共同信託他社管理財産については、職務分担型共同受託方式による信託財産はありません。

3 元本補てん契約のある信託については、前連結会計年度、当第1四半期連結会計期間の取扱残高はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	400,000,000
計	400,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	258,139,248	同左	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株であり ます。
計	258,139,248	同左	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	—	258,139	—	30,043	—	18,585

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 21,726,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 234,523,000	234,523	—
単元未満株式	普通株式 1,890,248	—	—
発行済株式総数	258,139,248	—	—
総株主の議決権	—	234,523	—

(注) 平成25年6月30日現在の「単元未満株式」には、当社所有の自己株式897株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 または名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) スルガ銀行株式会社	静岡県沼津市通横町23番地	21,726,000	—	21,726,000	8.41
計	—	21,726,000	—	21,726,000	8.41

2 【役員の状況】

(1) 新任役員

該当事項はありません。

(2) 退任役員

該当事項はありません。

(3) 役職の異動

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

- 1 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しておりますが、資産および負債の分類ならびに収益および費用の分類は、「銀行法施行規則」（昭和57年大蔵省令第10号）に準拠しております。
- 2 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）および第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人の四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
現金預け金	109,970	206,624
コールローン及び買入手形	570,064	465,077
商品有価証券	34	60
金銭の信託	1,000	905
有価証券	230,792	235,825
貸出金	※1 2,754,901	※1 2,760,794
外国為替	3,927	4,065
リース債権及びリース投資資産	5,652	5,629
その他資産	38,635	39,015
有形固定資産	48,953	49,299
無形固定資産	23,919	26,566
繰延税金資産	7,917	7,558
支払承諾見返	4,170	4,483
貸倒引当金	△30,282	△30,569
資産の部合計	3,769,657	3,775,336
負債の部		
預金	3,510,091	3,513,432
借入金	3,265	3,175
外国為替	17	15
その他負債	25,024	22,179
賞与引当金	648	5
役員賞与引当金	80	—
退職給付引当金	261	267
役員退職慰労引当金	2,701	2,749
睡眠預金払戻損失引当金	274	255
偶発損失引当金	552	538
繰延税金負債	119	127
支払承諾	4,170	4,483
負債の部合計	3,547,207	3,547,230
純資産の部		
資本金	30,043	30,043
資本剰余金	19,547	20,067
利益剰余金	179,511	183,656
自己株式	△17,194	△16,724
株主資本合計	211,908	217,043
その他有価証券評価差額金	8,097	8,842
繰延ヘッジ損益	△15	2
その他の包括利益累計額合計	8,082	8,844
新株予約権	784	542
少数株主持分	1,675	1,676
純資産の部合計	222,450	228,106
負債及び純資産の部合計	3,769,657	3,775,336

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
経常収益	26,743	28,898
資金運用収益	22,310	24,449
(うち貸出金利息)	21,672	23,395
(うち有価証券利息配当金)	468	857
役務取引等収益	2,996	3,050
その他業務収益	1,024	1,022
その他経常収益	※1 411	※1 376
経常費用	19,644	18,814
資金調達費用	741	809
(うち預金利息)	721	793
役務取引等費用	3,198	3,102
その他業務費用	739	1,120
営業経費	11,672	11,624
その他経常費用	※2 3,292	※2 2,156
経常利益	7,098	10,083
特別利益	—	51
固定資産処分益	—	51
特別損失	27	26
固定資産処分損	27	26
税金等調整前四半期純利益	7,070	10,109
法人税等	2,827	3,969
少数株主損益調整前四半期純利益	4,242	6,139
少数株主利益又は少数株主損失(△)	12	△8
四半期純利益	4,230	6,148

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,242	6,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,567	754
繰延ヘッジ損益	△9	17
その他の包括利益合計	△1,577	771
四半期包括利益	2,665	6,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,659	6,910
少数株主に係る四半期包括利益	6	1

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 税金費用の処理

当社および連結子会社の税金費用は、当第1四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1. 貸出金のうち、リスク管理債権は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
破綻先債権額	1,320百万円	1,413百万円
延滞債権額	37,763百万円	37,812百万円
3ヵ月以上延滞債権額	274百万円	246百万円
貸出条件緩和債権額	20,539百万円	20,919百万円
合計額	59,897百万円	60,391百万円

なお、上記債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。

(四半期連結損益計算書関係)

※1. その他経常収益には、次のものを含んでおります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
償却債権取立益	237百万円	250百万円

※2. その他経常費用には、次のものを含んでおります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
貸倒引当金繰入額	1,661百万円	1,260百万円
貸出金償却	463百万円	599百万円
株式等償却	295百万円	一百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	984百万円	1,029百万円
のれんの償却額	32百万円	32百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月15日 取締役会	普通株式	1,533	6.50	平成24年3月31日	平成24年6月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月10日 取締役会	普通株式	2,004	8.50	平成25年3月31日	平成25年6月3日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	銀行				
経常収益					
外部顧客に対する 経常収益	24,786	1,945	26,732	10	26,743
セグメント間の内部 経常収益	77	1,247	1,324	△1,324	—
計	24,863	3,193	28,057	△1,314	26,743
セグメント利益	6,973	112	7,085	12	7,098

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない連結子会社の行う貸金業務、リース業務、銀行事務代行業務、クレジットカード業務、保証業務等であります。
3. セグメント利益の調整額12百万円は、持分法による投資利益10百万円およびセグメント間取引消去額1百万円であります。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	銀行				
経常収益					
外部顧客に対する 経常収益	26,720	2,177	28,898	—	28,898
セグメント間の内部 経常収益	73	1,240	1,313	△1,313	—
計	26,793	3,418	30,212	△1,313	28,898
セグメント利益	10,096	29	10,126	△42	10,083

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない連結子会社の行う貸金業務、リース業務、銀行事務代行業務、クレジットカード業務、保証業務等であります。
3. セグメント利益の調整額△42百万円は、主としてセグメント間取引消去額であります。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(有価証券関係)

1. 満期保有目的の債券

前連結会計年度(平成25年3月31日)

	連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
国債	145,306	145,521	215

当第1四半期連結会計期間(平成25年6月30日)

	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
国債	145,285	145,581	295

2. その他有価証券

前連結会計年度(平成25年3月31日)

	取得原価(百万円)	連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	26,516	37,289	10,772
債券	21,124	21,202	77
国債	5,038	5,039	0
地方債	8,507	8,514	6
社債	7,578	7,648	70
その他	18,526	19,978	1,452
合計	66,167	78,470	12,303

当第1四半期連結会計期間(平成25年6月30日)

	取得原価(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	26,504	38,281	11,777
債券	30,287	30,007	△279
国債	38	39	0
地方債	23,449	23,138	△311
社債	6,798	6,830	31
その他	13,807	15,798	1,990
合計	70,599	84,087	13,488

(注) 前連結会計年度および当第1四半期連結累計期間における減損処理はありません。

なお、その他有価証券の減損にあたっては、当第1四半期連結会計期間末日(連結会計年度末日)における時価の取得原価に対する下落率が50%以上の銘柄について減損処理をするとともに、30%以上50%未満の銘柄について発行会社の信用リスクや過去一定期間の時価の推移等を判断基準として減損処理を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎ならびに潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	円	17.94	26.03
(算定上の基礎)			
四半期純利益	百万円	4,230	6,148
普通株主に帰属しない金額	百万円	—	—
普通株式に係る四半期純利益	百万円	4,230	6,148
普通株式の期中平均株式数	千株	235,741	236,145
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	円	—	25.99
(算定上の基礎)			
四半期純利益調整額	百万円	—	—
普通株式増加数	千株	—	351
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		—	—

(注) 前第 1 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式を調整した計算により 1 株当たり四半期純利益金額は減少しないので、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

剰余金の配当

平成25年 5 月10日開催の取締役会において、平成25年 3 月31日を基準日とする剰余金の配当（期末配当）につき次のとおり決議しました。

配当金の総額	2,004百万円
1 株当たりの金額	8 円50銭
支払請求の効力発生日 および支払開始日	平成25年 6 月 3 日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 9 日

スルガ銀行株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	東	勝	次	Ⓔ
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	湯	浅	敦	Ⓔ
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	浅	野	功	Ⓔ

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスルガ銀行株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、スルガ銀行株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- ※1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管している。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。